

▶ ホーム

学会案内

▶ 概要

▶ 定款等

▶ 組織・役員

▶ 学会からのメッセージ

▶ 事務局・連絡先

市民の皆様へ

▶ 医療における放射線被曝

▶ 放射線科の紹介

▶ 放射線・原子力関連情報

▶ 放射線医学の歴史

▶ レントゲンの日

医学生・若手医師へ

▶ 若手医師・学生の皆様へ

平成14年度第5回理事会議事録

2006-6-1 14:51:00

日 時:平成14年7月1日(月)14:00~17:00
 場 所:学士会館赤門分館3号室
 出 席:石垣武男, 板井悠二, 遠藤啓吾, 隈崎達夫
 久保敦司, 小西淳二, 田村正三, 中村仁信
 西谷 弘, 早淵尚文, 松井 修, 山田章吾各理事
 (監事)大友 邦
 欠 席:杉村和朗, (監事)阿部公彦

議事

1. 前回議事録の承認
2. 第62回日本医学放射線学会総会について
3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について
4. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認
5. IT問題ワーキンググループの設置
6. 国際交流委員会(仮称)の設置
7. 常設プログラム委員会の設置の検討
8. 会員資格
9. 定款変更
10. 学会誌
11. デジタルマンモグラフィに関する緊急勧告
12. 専門医資格認定の広告規制について
13. 最高裁判所からの鑑定人依頼
14. 放射線診断ガイドライン(案)
15. 委員会新委員の承認
16. 会告の承認

7月号 日本医学放射線学会第15回優秀論文賞について
 放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認

について

報告事項:

1. JRC理事会
2. 財政基盤の強化
3. 第39回日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長の件について
4. 放射線科を廻る諸問題
5. 委員会報告
 - 乳房撮影委員会
 - 将来計画委員会
 - 電子情報委員会
 - 放射線科専門医認定委員会
 - 医学物理士認定委員会
6. その他

議 事:

議事に先立ち小西淳二会長より議事進行については板井総務理事が行うことを提案され了承された。

1. 前回議事録(案)を承認した。

▶ 入会案内

▶ 会員のみなさまへ

▶ What's New

▶ 会員向けの情報

▶ 学会からの情報・ガイドライン

▶ 安全に関する情報

▶ 会報・会告

▶ 学会誌・出版物

▶ 学術大会(春・秋)

▶ 地方会案内

▶ 国際交流

▶ 関連学会集会

▶ 利益相反

▶ 専門医制度

▶ 医学物理士制度

▶ リンク集

▶ 電子放射線診療用語集

会員専用ページへ


閲覧には会員番号と
パスワードが
必要です



日本語

Search

板井理事より議事録の中の新役員および各委員会委員長名, JRC 役員名を学会会告に掲載してはどうかとの提案が出され了承された。

2. 第62回日本医学放射線学会総会について

小西会長から資料に基づき第62回日本医学放射線学会総会の企画案について説明がなされた。特別講演, 合同企画案, 国際シンポジウム, International session等の準備状況, またUMINへのオンライン登録のシステム登録が終了, 8月1日(木)より登録受付開始(詳しい内容は学会誌6月号会告)等の説明がなされた。

3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について

渡会大会長より第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会の一般演題, 教育展示等の進捗状況, について説明がなされた。

4. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認の件

既に7月号に掲載された放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認について

担当理事の松井理事より報告がありこれを承認した。

5. IT問題ワーキンググループの設置

板井総務理事より学会内のIT問題について説明がなされた。電子情報委員会, 広報委員会, 放射線科専門医認定委員会などが中心となり現在活発な活動がなされているが, サーバ管理など抱えている問題に共通点もあり, これらについてワーキンググループを作り一元管理を検討してはどうかとの提案が出され了承された。ワーキンググループ委員として石垣, 西谷, 松井各理事および松永先生を加え費用等も含め検討することとした。

6. 国際交流委員会(仮称)の設置

板井総務理事より東南アジア放射線医学振興基金の活用も含め国際交流について検討していくために委員会を設置してはどうかとの提案が出された。東南アジアのみならず欧州との関係の密接化など, 国際交流について杉村国際交流担当理事が中心となり検討することが了承された。

7. 常設プログラム委員会の設置の検討

板井総務理事より教育プログラムや総会の一般演題等に継続性を持たせた方が良いのではないかと意見が出された。総会や秋季大会の過去のデータベース作りは進められているが, どのように継続性を持たせたら良いかは教育講演を中心に, 教育委員会で常設プログラム委員会の設置も含め検討してもらうこととし, 設置自体は継続審議とした。

8. 会員資格

今年3月の理事会で検討されていた医師以外の方の入会について再度検討を行った結果, 入会を承認することとした。

9. 定款変更

前期理事会から審議され申し送り事項であった件について板井総務理事より資料を基に説明がなされた。理事会で検討後8月末までに改訂案を小西会長, 板井総務理事, 遠藤庶務理事, 隈崎会計担当理事で作成し, 8月の理事会で再度詳しく審議を行うこととし継続審議とすることとした。

10. 学会誌

板井総務理事より前期からの申し送り事項と, その後の出版社との話し合い内容について報告がなされた。年間発行数を和文誌6, 英文誌6にした場合の広告収入の問題, 学会誌郵送の問題, 電子ジャーナルの問題, 学会誌契約の見直し, 投稿論文を増やすため専門医試験の受験資格に投稿論文を加える(これについては専門医認定委員会で検討する)などを含め検討が必要なので, 継続審議とすることとした。

出版社との交渉は板井総務理事, 久保編集担当理事, が中心となり行うことを確認した。

11. デジタルマンモグラフィに関する緊急勧告

石垣担当理事よりデジタルマンモグラフィに関する基準の問題について報告がなされた。これを日医放会誌巻末に掲載することが了承された。

12. 専門医資格認定の広告規制について

6月19日に厚生労働省に関係書類を提出, 不足書類について説明がなされた。理事会で検討後, ①学会ホームページへの会員名の表示 ②専門医名の表示 ③学会機構図 ④過去の合格者数の追加資料提出について了承された。また65歳以上の専門医更新に関する件は専門医認定委員会で検討することとした。

13. 最高裁判所からの鑑定人依頼

最高裁判所医事関係訴訟委員会から鑑定人依頼のあった件について板井総務理事より説明がなされた。理事会で検討後, 学会として引き受ける方向で板井総務理事に一任することとした。

14. 放射線診断ガイドライン(案)

遠藤庶務理事から資料を基に説明がなされた。ガイドラインの内容, 学会のかかわり等について健保委員会, 教育委員会でチェックして頂くこととし, 継続審議とすることとした。

15. 委員会新委員の承認

平成14, 15年度の委員として将来計画委員会, 乳房撮影委員会, 医学物理士認定委員会, 放射線科専門医認定委員会(平成14年9月1日から)から委員名簿が出され承認された。

16. 会告の承認

7月号 日本医学放射線学会第15回優秀論文賞について
放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認
について

17. その他

1)メーリングリストについての会告を広報委員会から出して頂くこととした。

2)生物部会から要請のあった担当理事について, 山田理事にお願いすることとした。

報告事項:

1. JRC理事会

6月10日に開催されたJRC理事会の報告が板井総務理事よりなされた。

JRSから理事長に隈崎, 副理事長に板井, 小西各理事, CyberRad委員長に石垣理事が選出された旨の報告がなされた。また, 隈崎理事からJRCについて説明がなされた。

2. 財政基盤の強化

学会の財政が赤字の状態であるのでこの解決策の一つに寄附を募りたい旨の報告がなされ, 次回具体案を出し審議することとした。

3. 第39回日本医学放射線学会秋季臨床大会大会長の件について関東地区から昭和大学の宗近宏次先生が推薦された旨の報告がなされた。

4. 放射線科を廻る諸問題

国立大学医学部附属病院長会議から提案された国立大学附属病院の医療提供機能強化を目指したマネジメント改革についての報告がなされた。

5. 委員会報告

乳房撮影委員会

将来計画委員会

電子情報委員会

